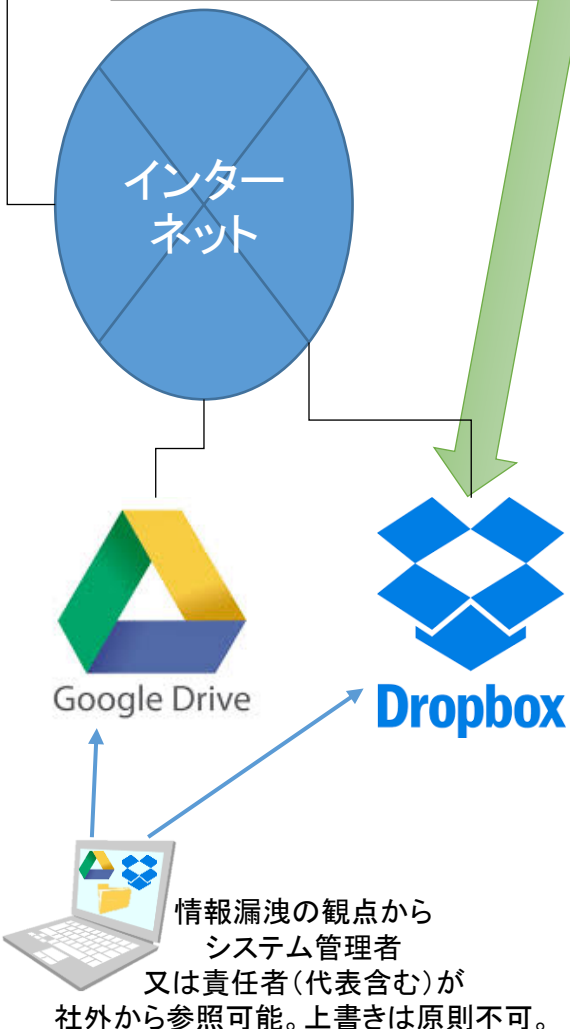
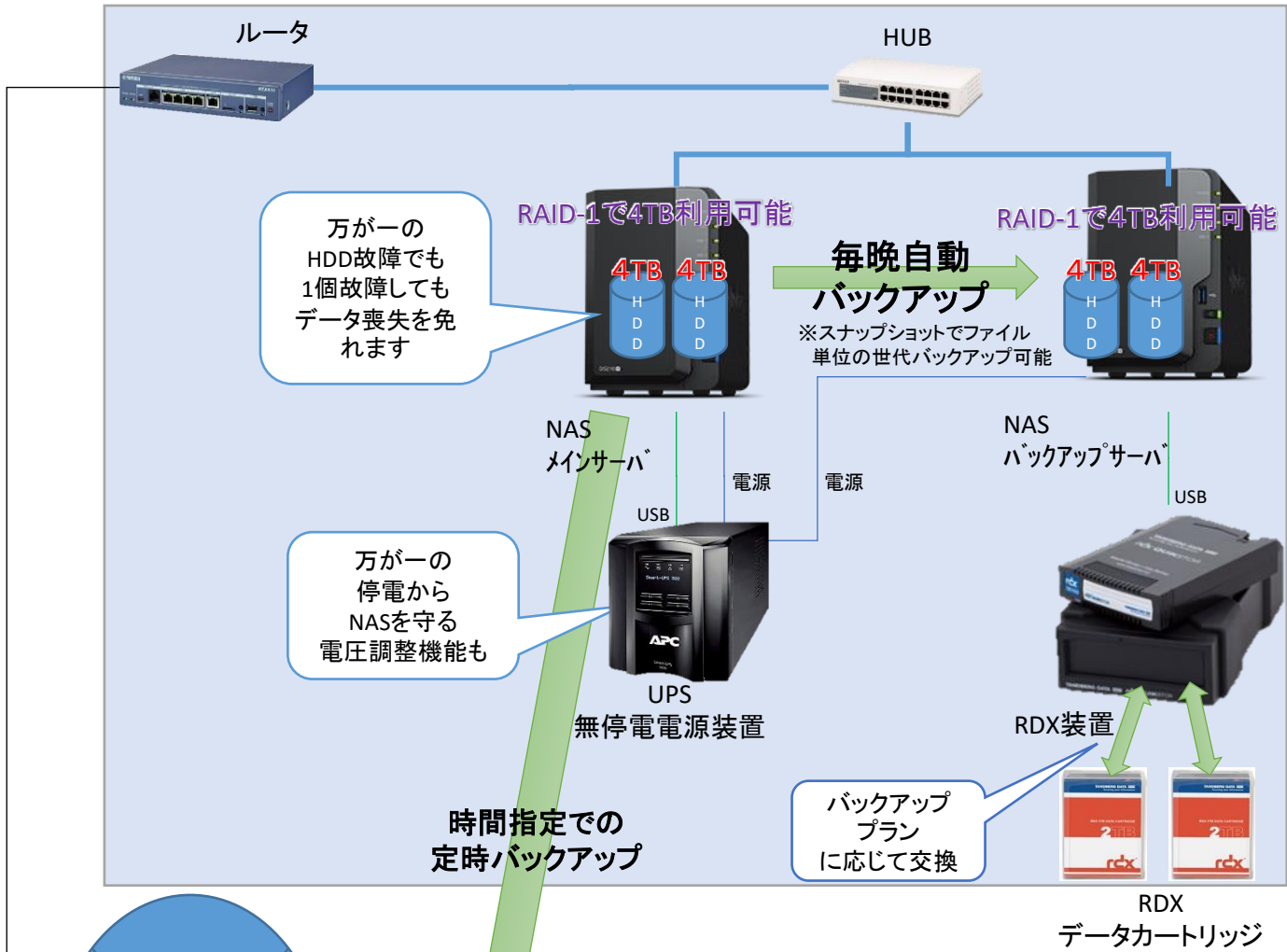


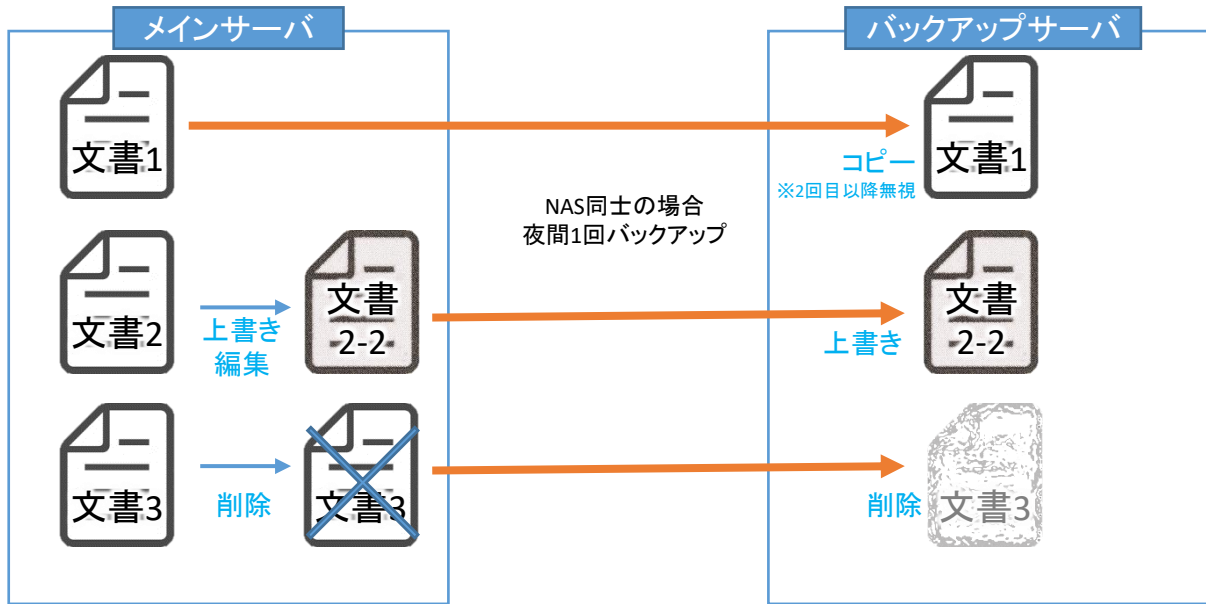
- 1) NAS同士で夜間に自動バックアップでデータ喪失防止  
 ※差分で毎晩バックアップする方式と、スナップショットでファイル単位の世代バックアップも可能ですが、バックアップNASの容量を増やす必要有り。
  - 2) UPSにより、不意な停電からNASを守る。  
 また電圧が不安定な環境の場合、電圧調整機器の安定稼働と寿命の短命化を防ぐ。
  - 3) RDXにより、複数のバックアップを保持し、以前のデータに戻すことができる。また、カートリッジを建物外に保管すれば、万が一の火災、盗難、建物倒壊からデータを守る。1つはオフラインの状態なので、ウィルスやランサムウェアからデータを守る。
  - 4) クラウドストレージ連携により、GoogleドライブやDropBoxなどへのデータ保存が可能。火災、盗難、建物倒壊などからデータを守ることが可能。  
 ただし、オンラインのため、NASがウィルス感染などするとデータを同日喪失する。 ※オプション
- RDXやクラウド、更に追加のNAS等、それぞれ組み合わせを選択可能**



- 1) NAS同士で夜間に自動バックアップでデータ喪失防止  
※差分で毎晩バックアップする方式と、スナップショットでファイル単位の世代バックアップも可能ですが、バックアップNASの容量を増やす必要有り。
  - 2) UPSにより、不意な停電からNASを守る。  
また電圧が不安定な環境の場合、電圧調整機器の安定稼働と寿命の短命化を防ぐ。
  - 3) RDXにより、複数のバックアップを保持し、以前のデータに戻すことができる。また、カートリッジを建物外に保管すれば、万が一の火災、盗難、建物倒壊からデータを守る。1つはオフラインの状態なので、ウィルスやランサムウェアからデータを守る。
  - 4) クラウドストレージ連携により、GoogleドライブやDropBoxなどへのデータ保存が可能。火災、盗難、建物倒壊などからデータを守ることが可能。  
ただし、オンラインのため、NASがウィルス感染などするとデータを同日喪失する。 ※オプション
- RDXやクラウド、更に追加のNAS等、それぞれ組み合わせを選択可能**

# 通常のバックアップとスナップショット バックアップ

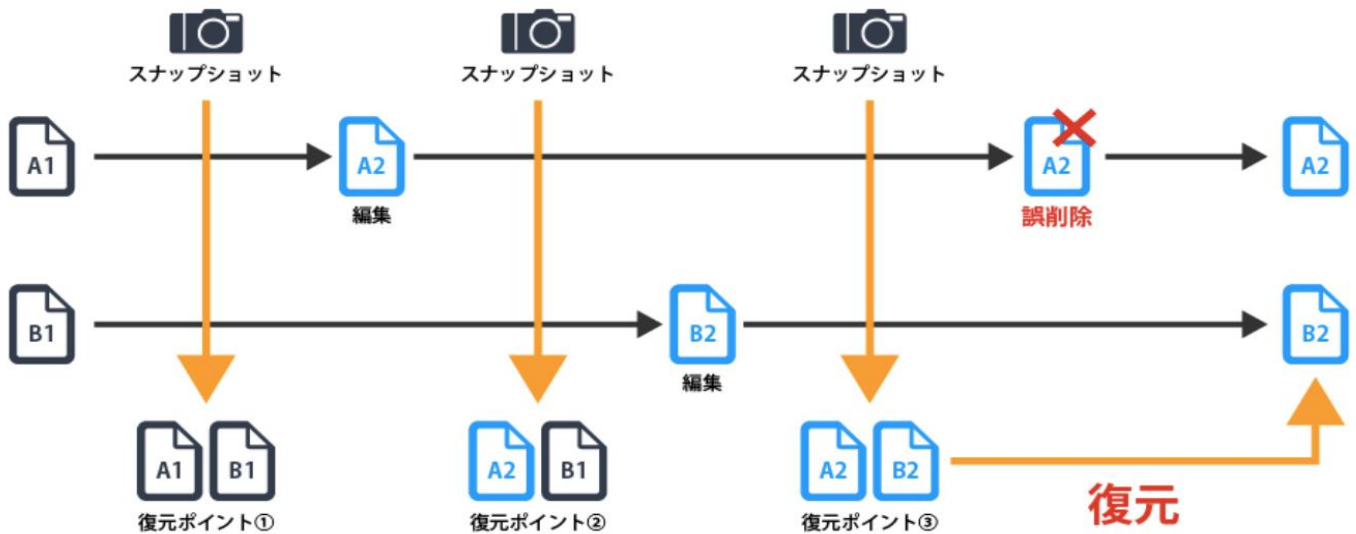
## 従来のミラーリングバックアップ



- ・パソコンから、当社指定アイコンクリックして、USB-HDD又はNAS(ファイルサーバ)へバックアップする場合
- ・NAS(メイン:ファイルサーバ)から、NAS(バックアップサーバ)へバックアップする場合

NASの場合は前日のデータ、パソコンからのバックアップはバックアップ直前のデータに戻す事が可能。  
メインサーバが壊れてもバックアップサーバで、業務を継続することが可能。

## スナップショットによるバックアップ



ご削除や編集ミスなどの人的ミスからファイルをスナップショットのタイミング毎に復元可能

- ・パソコンから、当社指定アイコンクリックして、USB-HDD又はNAS(ファイルサーバ)へバックアップする場合
- ・NAS(メイン:ファイルサーバ)から、NAS(バックアップサーバ)へバックアップする場合

前日までのデータ又は、設定された何世代か前のデータに戻す事が可能。  
スナップショットだけの場合、メインサーバが故障したときは、ノスクが対応するまで業務の継続は不能。

## NAS間のバックアップは、上記の両方を併用可能

※併用する場合、バックアップサーバの容量は、メインサーバの1.5~3倍にしなければならない。